

道南 Canon CT/MR ユーザー会 開催報告

キヤノンメディカルシステムズ株式会社

3月17日（土）、道南 Canon CT/MR ユーザー会を函館市にて開催いたしました。道南地区ではキヤノンメディカルシステムズへの社名変更後初、さらに北海道支社初となる CT と MR の合同開催でした。片道 2 時間程かかる遠方の地域からの参加もあり、11 施設 27 名の先生方にお集まりいただき会場は大いに盛り上がりました。



会場の様子

当会代表世話人である函館中央病院 駒野先生の開会挨拶を賜り開会いたしました。

はじめに、最新情報提供として弊社より RSNA 報告と当社の高精細技術に関する発表を行いました。

次にユーザー発表として、CT から 2 演題、MR から 1 演題を函館五稜郭病院 竹内先生の司会のもとご発表いただきました。

CT ユーザー発表では、函館五稜郭病院の大須田先生から「検査目的に合わせた心大血管 CT 撮影」との題目、函館中央病院の駒野先生からは「検査目的に合わせた腹部 CT 撮影」との題目で、各領域での撮影ポイントや造影方法、病変の特徴等についてご発表いただきました。昨年の道南 CT ユーザー会のアンケート結果を考慮した発表内容で、参加者にはご満足頂けました。

MR ユーザー発表では、函館渡辺病院の野邊地先生から「Vantage Titan の使用経験」と題し、導入から現在にいたるまでのご体験を発表いただき、Vantage Titan の大きな特徴である開口径 71cm の Open Bore を活かした撮像や広範囲 FOV での安定した画質に、ご来場の先生方からは大きな反響がございました。



函館五稜郭病院 大須田先生（CT） 函館中央病院 駒野先生（CT） 函館渡辺病院 野邊地先生（MR）

続いてアプリアワーとして、弊社のアプリケーションスペシャリストよりプラン作成からスキャン計画までに役立つワンポイントが紹介された後、特別講演として函館協会病院の藪先生に座長をお務めいただき、JCHO 札幌北辰病院の秋元先生から「Aquilion & Vantage –JCHO 札幌北辰病院での稼働状況–」と題してご講演賜りました。

JCHO 札幌北辰病院では、道内 1 号機となる Exerert Vantage（1.5T MRI）が現在稼働中で、2018 年 2 月に Aquilion PRIME（80 列 CT）が導入されています。

当社の CT と MRI を使用した検査に関するポイントを「臨床医から、直接相談をうける技師を目標に」というコンセプトのもと、多くの臨床例をご紹介いただきました。

ご来場の先生方からは、「今日聞いた講演の内容を意識して、今後の検査に活かしたい！」、「日々の検査画像から検査者の意図を感じ取ってもらえるようにしたい！」など多くのコメントがあり、好評でした。



秋元先生

今回、初の CT・MR 合同の開催となりましたが、相互のモダリティの理解を深めることができる実りある会となりました。これを機に今後も道南地区のキャノンメディカルシステムズの CT・MR ユーザーの皆様の貴重な情報交換の場とし、満足度向上につなげられるよう継続していきたいと思っております。